

【令和3年度 授業改善推進プラン】

板橋区立富士見台小学校

【総合的な学習の時間】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を決め、その課題を意欲的に追究することができる。 ・まとめた内容を発表し合うことで、他の児童のよさを見つけ、次に生かそうとする意欲をもてる。 ・学習して分かったことや気付いたことを自分なりにまとめることができる。 ・インターネットを活用して情報を収集できる児童が多い。一方で、インターネットの多量な情報から自分に必要な情報を取捨選択することが苦手な児童が多い。 ・課題を追究する力やそれをまとめて表現する力の差が大きい。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の情報活用力、表現力などを伸ばすための指導法を工夫する。 ・クロームブックや実物投影機などの機器の活用を推進させる。 ・プログラミング教育を基にし、見通しをもった論理的思考を育成する。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>◇問題解決型・探究型の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れを視覚的に明確化するため、フローチャート等を利用して、論理的な学習課題づくりを展開する。 ・インタビューの仕方や図書館の利用法、情報の選び方等の多様な情報収集の手段を身に付けさせるために国語科等の学習と関連付ける。 ・図書館や関連施設を利用して、十分な資料を教師が準備する。 ・教室内にテーマに沿った印刷物や書籍、展示物を置き、学習環境を整えておく。 ・新聞、パンフレット、紙芝居、ポスター、劇、プレゼンテーション等多くの表現法から効果的なまとめ方や発表法を選ばせる。 ・ICT機器を活用した情報収集や発表の力を伸ばすため、パソコンを利用した検索方法やプレゼンテーションソフトの使い方を指導する。 <p>◇協働学習の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージマップを見せ合ったり、考えを繋げたり、共同で大きなイメージマップを作ったりして、自分とは違う考え方を知り、より考えを深めたうえで課題を設定する。 ・情報収集やまとめ作業の途中で、児童が互いに情報や意見を交換し合う場面を設けることで、自分の活動を見直せるようにする。 ・発表を見合う中で、感じたことや考えたことを明確にし、学習を深める。 <p>◇言語活動を充実させるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を選択し、自分自身の言葉で表現させるために、辞書を活用させる。 ・発表する機会を多く設け、他学級・他学年とも交流できるようにする。 ・発表や話し合いの時は、互いの考えや共通点・相違点を考えながら聞き、分からないことや疑問点は進んで質問するように支援する。 ・1単元の中に、認識・思考・表現の活動を取り入れる。 <p>◇指導と評価と支援の一体化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の学習のめあてを明確にし、児童がめあてに対して振り返る時間を必ず設ける。 ・発表の後に各グループの交流会を設け、次回の課題に生かせるようにする。 <p>◇保護者・地域との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部講師として保護者や地域ボランティアを招いたり、商店、工場、公園などを教材にしたりして、地域と連携した活動を取り入れる。